

言語間変異を司る生得的制約：英語獲得の観点から

Innate Constraints on Syntactic Variation: The View from Child English

杉崎 鉦司 (SUGISAKI, Koji)
(三重大学・准教授)

要約：

普遍文法に対する「原理とパラメータのアプローチ」においては、言語の可能な異なり方を規定する生得的制約（「パラメータ」）の存在が仮定されていたが、近年のミニマリスト・プログラムにおいては、そのような生得的制約の存在は疑問視されている。本発表では、英語における前置詞残留現象および他動詞needの獲得過程を詳細に分析することにより、これらの性質の言語間変異を司る制約の必要性について検討する。それにより、言語の理論的研究と、母語獲得過程に関する研究がいかんにして有機的に関わり得るかを例示する。

日程：2013年7月25日（木曜日）午後6時15分～午後7時45分（6コマ目の授業時間帯）

場所：名古屋大学全学教育棟・北棟405号室 <参加自由・無料>

コンタクト： 名古屋大学 玉岡賀津雄 ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp